

## 平成27年度事業報告書

平成27年度は、大胆な金融政策や機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする経済財政政策の推進により、一部の大企業では過去最高水準の経常利益を達成するなど、いよいよ本格的な景気回復が期待されたものの、残念ながら廃棄物処理業界までは景気拡張の波は押し寄せることなく終始した一年となった。

こうした中、協会は、会員企業の円滑な事業推進のための環境整備をモットーに、各種研修会・講習会の実施、廃棄物処理法改正に向けた意見や要望の提出、東京都予算等に対する要望、個別課題としての再生砕石・建設廃棄物問題の解決に向けた関係団体への働きかけ等、組織団体だからこそできる活動・事業を鋭意推進してきた。また協会の実質的な活動を支える7つの委員会、3つの部は、常日頃から、それぞれが設定した課題解決・目的実現に向け活発な活動を行ってきた。以下、主な活動を報告する。

### 1. 適正処理推進事業 (公益的事業)

#### (1) 調査研究事業

##### 1) 調査研究

法制度の改正や首都直下などの巨大地震による災害廃棄物対策の動向等について情報収集を行うとともに、異物混入による事故の防止など、会員が直面する課題の解決や関係機関に必要な提案を行っていくため調査研究を行い、要望等を実施した。

##### 2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌「とうきょうさんばい」やホームページ、各種研修会、相談業務を通して会員に提供した。

#### (2) 研修事業

##### 1) 一般研修事業

適正処理とリサイクルを広く推し進めていくため、各種研修会、講習会を実施した。

① 建設廃棄物・三者施設見学研修会 見学会：31名 勉強会：35名

〔本協会・建設廃棄物委員会 主催〕

対象者：東京都環境局資源循環推進部

(一社)東京建設業協会 (一社)東京建物解体協会

(一社)東京都産業廃棄物協会 建設廃棄物委員会

期 日 : 平成 27 年 10 月 22 日  
内 容 : 高効率建設系廃棄物リサイクル発電施設 見学  
低濃度 PCB 廃棄物の無害化処理施設 見学  
安定型最終処分場 見学  
勉強会『建設汚泥を取り巻く状況・PCB 廃棄物の適正な処理に  
向けての都の役割・廃棄物処理法及び災害対策基本法の  
改正』  
見学先施設 : (株)市原ニューエナジー 杉田建材(株) (千葉県市原市)  
勉強会講師 : 東京都環境局資源循環推進部  
〃 場所 : (一社)東京建設業協会 会議室 (中央区)

**② 第 1 回医療廃棄物排出事業者向けセミナー** 63 名

[ 本協会・医療廃棄物委員会 主催 ]

対象者 : 医療廃棄物排出事業者  
期 日 : 平成 27 年 11 月 20 日  
内 容 : 排出事業者責任による医療系廃棄物の処理と管理  
電子マニフェストについて  
排出事業者責任を問われた事例に学ぶ  
講 師 : (公財)日本産業廃棄物処理振興センター  
本協会顧問弁護士法律事務所  
場 所 : エッサム本社ビル (千代田区)

**③ 医療廃棄物適正処理研修会** 91 名

[ 本協会/東京都環境局/(公社)東京都医師会 主催 ]

対象者 : 特別管理産業廃棄物管理責任者等  
期 日 : 平成 28 年 3 月 26 日  
内 容 : 在宅医療廃棄物の処理について  
水銀に関する水俣条約を踏まえた今後の水銀廃棄物対策  
廃水銀血圧計・廃水銀体温計自主回収への東京都医師会の取組みに  
ついて  
産業廃棄物の適正処理を果たすための排出事業者責任について  
東京都医師会方式による医療廃棄物追跡管理システムの活用につ  
いて  
医療廃棄物の分別方法と注意点  
講 師 : (公社)日本医師会  
環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課  
(公社)東京都医師会

東京都環境局資源循環推進部産業廃棄物対策課  
(公財)東京都環境公社  
(一社)東京都産業廃棄物協会 医療廃棄物委員会

場 所 : 東京都庁 都民ホール (新宿区)

#### ④ 産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース

[ 本協会 / (公社)全国産業廃棄物連合会 共催 ] 69名

対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者等

期 日 : 平成27年 9月14日

講 師 : (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場 所 : フォーラムミカサエコ (千代田区)

[ 実施機関 : (公社)全国産業廃棄物連合会 本協会実施協力 ] 125名

対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者等

期 日 : 平成28年 2月12日

講 師 : (公社)全国産業廃棄物連合会

場 所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

## 2) 講習会事業 (許可申請に関する講習会)

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬、処分課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である(公財)日本産業廃棄物処理振興センターに協力して実施した。

### ① 新規許可申請講習会 1,020名

#### ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	: 第1回	平成27年	5月18日~19日	168名
	第2回	27年	6月3日~4日	169名
	第3回	27年	9月17日~18日	155名
	第4回	27年	11月26日~27日	156名
	第5回	28年	1月7日~8日	139名
	第6回	28年	3月10日~11日	160名 (947名)

場 所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

#### イ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日 : 第1回 平成27年10月14日~16日 73名

場 所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

### ② 更新許可申請講習会 1,174名

#### ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	第1回	平成27年	5月	8日	172名
	第2回	27年	6月	2日	167名
	第3回	27年	7月	17日	166名
	第4回	27年	9月	4日	169名
	第5回	27年	12月	2日	166名
	第6回	28年	1月	13日	163名
	第7回	28年	3月	3日	171名
場所	ベルサール西新宿（新宿区）				

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 2,409名

期日	第1回	平成27年	5日	7日	168名
	第2回	27年	6月	1日	169名
	第3回	27年	7月	2日	167名
	第4回	27年	7月	3日	163名
	第5回	27年	8月	4日	165名
	第6回	27年	9月	3日	168名
	第7回	27年	10月	1日	144名
	第8回	27年	10月	2日	162名
	第9回	27年	11月	17日	164名
	第10回	27年	12月	15日	143名
	第11回	27年	12月	16日	109名
	第12回	28年	1月	12日	141名
	第13回	28年	2月	25日	154名
	第14回	28年	2月	26日	158名
	第15回	28年	3月	17日	104名
	第16回	28年	3月	18日	130名
場所	ベルサール西新宿（新宿区）				

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会（医療関係機関等対象） 164名

期日	第1回	平成27年	9月	11日
場所	日本医師会館（文京区）			

⑤ PCB廃棄物の収集運搬作業従事者講習会 174名

期日	第1回	平成27年	7月	15日
場所	ベルサール西新宿（新宿区）			

### (3) 相談指導事業

平成14年度から専任相談員を配置して相談指導事業を行っている。27年度の相談件数は、2,761件で、前年度に比較して46件増加した。

#### 平成27年度の相談実績

I 照会・相談・質問 区分内訳			(2,761件の内訳)		II 照会・相談・質問者 内訳		III 照会・相談・質問 内容内訳	
電話	処理先照会	1,855	排出事業者等	1,860	会員紹介	1,896		
	相談事項	268	処理業者	369	法令照会	296		
	質問事項	576	建設業関係	217	処理方法	98		
面接 WEB等	相談・質問	62	行政機関	29	契約書・管理票	302		
計		2,761	コンサル	41	リサイクル関連	14		
			医療機関	26	建設廃棄物	4		
			一般都民	219	許可関係	106		
					その他	45		

## 2. 環境対策事業 (公益的事業)

### (1) 環境活動

4月18日～19日に開催された「アースデイ東京2015」に青年部が参加し、ごみゼロステーションを運営する形で環境活動を展開した。

また、女性部は、部員各社が集めたペットボトルキャップの売却益等を原資に購入した大型絵本を岩手県釜石市教育委員会に寄贈した。

### (2) 環境対策事業

該当事業なし。

### (3) 災害廃棄物対策事業

国の「災害廃棄物対策検討会」の検討状況を把握するとともに、東京都と締結している「災害廃棄物の処理等の協力に関する協定書」に基づき、協会会員企業保有の車両や資機材等について調査を実施した。

## 3. 普及事業 (その他事業)

### (1) 普及事業

#### 1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取組み状況などを、機関誌「とうきょうさんばい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

また、安全衛生に関するポスターを全会員に2回配布し、普及啓発に努めた。

## 2) 協会発行図書等の有償頒布

### 主な有償頒布図書

マニフェストシステムがよくわかる本	756部
建設廃棄物処理委託契約書	1,292部
建設廃棄物処理委託契約書様式及び記入例	113部

### 車両表示板作製あっせん受注実績

	*会社数	受注枚数
マグネット(着脱)式	18社	47組
シート(固定)式	10社	29組
合 計	28社	76組

\*会社数は、複数の形式を受注したものを整理した純数

## 3) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、(公社)全国産業廃棄物連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、「電子マニフェストに係る説明会」を実施するとともに、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）」〔連合会発行〕の販売を行った。

### 産業廃棄物管理票普及実績

種 類		単 票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	212,100セット	226,500セット	438,600セット
	積替用	28,800セット	99,500セット	128,300セット
建設系廃棄物		451,300セット	375,500セット	826,800セット
合 計				1,393,700セット

### 電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）	7,900セット
--------------------------	----------

## 電子マニフェストに係る説明会

117名

〔(公社)全国産業廃棄物連合会業務委託「電子マニフェスト運用支援業務」〕

対象者 : 排出事業者及び収集運搬業者、処分業者においてマニフェスト業務に携わる実務担当者、電子マニフェストの導入を検討されている企業等

### ア 電子マニフェスト操作体験セミナー

期 日 : 平成27年10月 6日 15名

講 師 : (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場 所 : Winスクール 新宿本校 (新宿区)

### イ 電子マニフェスト導入実務研修会

期 日 : 第1回 平成27年11月12日 37名

講 師 : (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場 所 : エッサム本社ビル (千代田区)

期 日 : 第2回 平成27年12月 7日 58名

講 師 : (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場 所 : エッサム本社ビル (千代田区)

### ウ 電子マニフェスト個別導入相談会

期 日 : 第1回 平成27年11月12日 3名

講 師 : (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場 所 : エッサム本社ビル (千代田区)

期 日 : 第2回 平成27年12月 7日 4名

講 師 : (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場 所 : エッサム本社ビル (千代田区)

## (2) 機関誌の発行事業

会員に対する基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんぱい」は第296号から307号まで計12号を発行した。

内容は、協会、(公社)全国産業廃棄物連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

### <主な記事>

- ① 東京都受託事業 (産業廃棄物処理業者向け講習会)  
静脈産業をめぐる最新状況に関する講習会  
『循環型社会における事業戦略のあり方』をテーマに開催
- ② [女性部だより]  
女性部設立10周年記念イベントを開催
- ③ [第3回定時総会]

- 平成26年度事業報告、決算報告を承認  
マニフェスト売上が大幅減、財産基盤の安定・強化が課題
- ④ [27年度国内処理施設見学研修会]  
「富山市エコタウン」を訪問  
RPF製造の(株)エコ・マインドと廃棄物発電の(株)アイザックを見学
- ⑤ 機関誌第300号に寄せて 会長
- ⑥ 全産廃連「廃棄物処理法の見直しに関する意見聴取」への回答概要
- ⑦ 平成28年度東京都予算等で要望活動
- ⑧ [建設廃棄物委員会]  
東京建設業協会・東京建物解体協会との合同施設見学会  
杉田グループ(株)市原ニューエナジーを訪問  
勉強会は建設汚泥・PCB・法改正の3テーマで開催
- ⑨ [全国産業廃棄物連合会]  
第55回関東地域協議会  
処理法改正・処理業の振興策・災害廃棄物処理等について討議  
環境省・産業廃棄物課長 講演『産業廃棄物行政の現状と今後の展望について』
- ⑩ [回顧と展望]  
「平成27年の振り返りと新年度活動の方向性」 事務局長
- ⑪ 新春講演会・賀詞交歓会を盛大に開催
- ⑫ [青年部だより]  
新年講演会を開催  
基調講演『仕事力を上げる片付けの力』  
パネルディスカッション『片付けビジネスのこれから』

### (3) 会 員 事 業

#### 1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

#### ① 安全衛生研修会 149名

[安全衛生推進委員会 主催]

##### ア 第1回安全衛生研修会

期 日 : 平成27年 6月23日 51名  
内 容 : デジタルタコグラフ・ドライブレコーダーの活用方法について  
講 師 : 矢崎エナジーシステム(株)  
場 所 : 東京都トラック総合会館(新宿区)

#### イ 第2回安全衛生研修会

期 日 : 平成27年10月20日 46名  
内 容 : 産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について  
講 師 : 東京労働局  
場 所 : フォーラムミカサ エコ (千代田区)

#### ウ 第3回安全衛生研修会

期 日 : 平成28年 2月18日 52名  
内 容 : 産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について  
講 師 : 東京労働局  
場 所 : フォーラムミカサ エコ (千代田区)

#### ② 平成27年度東京都「団体提案型中小企業処遇改善サポート事業」

延べ 275社 1,127名

[本協会企画]

内 容 : 『産業廃棄物処理業界における処遇改善事業』  
・営業スキルアップ研修  
・廃棄物処理に係るコンプライアンス研修  
・大型自動車免許取得支援 等

#### ③ 国内処理施設見学研修会

38名

期 日 : 平成27年 6月 5日 ~ 6日  
見学先 : 「富山市エコタウン」内 (株)エコ・マインド (株)アイザック  
(富山県富山市)

#### 2) 会員交流・増強事業

① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため、総会後の懇親会、賀詞交歓会等の交流事業を行った。また、部門別においても、多摩支部、青年部、女性部の諸活動を積極的に行った。

② 会員数の維持・増加を図るため、許可申請に関する講習会等において、協会案内を配布し入会を呼びかけるなど、あらゆる機会を活用して会員数の拡大に努めた。

また、新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を2回開催した。

## 会 員 数 の 推 移

	正 会 員	賛助会員	計
平成26年度末会員数	567	63	630
平成27年度入会者数	4	5	9
〃 退会者数	14	5	19
平成27年度末会員数	557	63	620

③ 関係団体との協力では、(公社)全国産業廃棄物連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行った。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

### 3) 顕彰・表彰事業

27年度は、『優良事業所表彰』3社、『功労者表彰』2名、『優良従事者表彰』20名、『安全衛生推進委員長賞表彰』1社・2名を表彰した。

## 4. 管 理 運 営

### (1) 総 会 (1回)

第3回定時総会 期 日 : 平成27年 5月28日  
場 所 : 青山ダイヤモンドホール (港区)  
議 案 : ①平成26年度事業報告の件  
②平成26年度決算報告承認の件  
出席者 : 414名 (委任状を含む)

### (2) 理 事 会 (8回)

第18回理事会 期 日 : 平成27年 4月 8日  
第19回理事会 期 日 : 平成27年 5月13日  
第20回理事会 期 日 : 平成27年 7月 8日  
第21回理事会 期 日 : 平成27年 9月 9日  
第22回理事会 期 日 : 平成27年11月11日  
第23回理事会 期 日 : 平成27年12月 9日  
第24回理事会 期 日 : 平成28年 1月13日  
第25回理事会 期 日 : 平成28年 3月 9日

### (3) 常 任 理 事 会 (14回)

平成27年 4月 8日 | 平成27年 4月28日 平成27年 5月13日

平成 27 年	6 月 10 日	平成 27 年	7 月 8 日	平成 27 年	7 月 28 日
平成 27 年	9 月 9 日	平成 27 年	10 月 27 日	平成 27 年	11 月 11 日
平成 27 年	11 月 24 日	平成 27 年	12 月 9 日	平成 28 年	1 月 13 日
平成 28 年	3 月 9 日	平成 28 年	3 月 22 日		

## 5. 委員会活動

### (1) 総務委員会

事業計画や執行に関する基本的事項、協会の財政基盤強化など横断的事項について協議し、調整を行った。

分科会として法制度検討委員会は、第3期テーマの選定を含め、合宿方式による集中検討など熱心に活動を進め、その成果の一部は東京都への要望、全国産業廃棄物連合会による環境省への「廃棄物処理法等の見直しに関する意見」などに活かされた。

### (2) 広報委員会

協会活動全般、業界情報、特に法制度関連事項について機関誌「とうきょうさんぱい」及び「協会ホームページ」を用いて会員向けに情報伝達した。

- ①委員会・部会活動については、主に活動主体のメンバーにその活動の詳細を報告願い、「とうきょうさんぱい」に記事として掲載した。
- ②広報委員の増員をはかったが、実現出来なかった。
- ③広報委員会に対しての意見を各会員に求めたが、残念ながら、反応はなかった。
- ④費用対効果の検証を行い、結果として一部の費用低減策を実行した。

### (3) 中間処理委員会

この1年、収集運搬委員会とも協力しながら、東京都との懇談会質疑事項や東京都予算に対する要望事項、廃棄物処理法改正に向けた意見等の抽出に参画してきた。なかでも、前年度、重点的に検討してきた「異物混入防止」対策については、収集運搬委員会や分科会（破碎・圧縮、中和・脱水、焼却）とも連携しながら、平成27年5月、内容を一新した異物混入防止のためのリーフレットを発行することができた。今回新たに作成したリーフレットは、「排出事業者には『排出から最終処分に至る一連の処理』についての適正処理責任があることを前面に出した」ものとなった。6万部印刷し、会員企業に有効活用してもらうことができた。今後は、効果等をフォローアップするとともに、新たな課題等についても検証し、更なる内容改善を図っていかねばならない。

その他の活動として、中間処理委員会は、平成27年11月27日・28日に京都市における家庭系有害廃棄物の回収（移動式拠点回収）について視察し、京都市役所、京都大学、(株)京都環境保全公社の関係者と回収システムの成果や課題等について有意義な意見交換をすることができた。

破碎・圧縮分科会は、大田区城南島にある高俊興業(株)、(株)アルフォの施設見学を実施した。中和・脱水分科会は、委員会企業の異物混入防止のための具体的な取組みについて情報共有するとともに、東京都廃棄物審議会「東京都廃棄物処理計画の改定について」の最終答申に向けたパブリックコメントの提出について必要な調整を行った。焼却分科会は、東京都環境局の担当者を講師として招き、焼却炉定期点検に係る注意事項等について知見を深めた。

今後の活動としては、水銀に関する水俣条約の採択を踏まえ、新年度早々、関係処理業者を講師に勉強会を開催することを確認し、平成27年度の活動を終えた。

#### (4) 安全衛生推進委員会

今年度は3回の委員会と3回の研修会を行った。第1回の研修会は、東京都トラック総合会館でドライブレコーダーを活用した交通事故防止セミナーを行い、第2回目は東京労働局産業安全専門官による研修を行った。第3回目も同専門官による産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について研修を行った。また、安全週間や年初には安全衛生推進ポスターを会員各社に配給し、安全衛生の啓発に努めた。

安全衛生表彰では、5月の総会において1社2名の表彰を行った。

会員から提出されたヒヤリハット事例をまとめ事例集作成に取り組んだ。

#### (5) 医療廃棄物委員会

日本でも流行する可能性が高まったため、4月27日に「エボラ出血熱に関する勉強会」を開催したが、知識としては理解でき、また、流行らなかったのが安堵した。

9月11日には、東京・神奈川・静岡・千葉1都3県の協会により、昨年引き続き第2回目の医療廃棄物合同懇談会を開催し、針刺し事故への対応や病院との連携など、いろいろな意見が出て参考になった。平成28年度は静岡県で行う予定。

11月20日は医療廃棄物委員会初めての試みである排出事業者向けセミナーを、63名出席のもと以下の通り開催した。

##### ①「排出事業者責任による医療系廃棄物の処理と管理」

講師：(公財)日本産業廃棄物処理振興センター

②「電子マニフェストシステムについて」

講師：(公財)日本産業廃棄物処理振興センター

③「排出事業者責任を問われた事例に学ぶ」 講師：本協会顧問弁護士事務所

契約書とマニフェストを照らし、見直しをしていく良い機会となった、排出事業者責任の重さを痛感したなど、いろいろな感想があったが、受講生に対して気付きの研修ができ有意義な研修となった。今後も続けていく予定である。

## (6) 収集運搬委員会

今年度当委員会は以下の通り委員会を行いました。特出すべき点は、青年部との合同研修で実施しました交通事故防止研修です。会員からの評価も高かったため、今後も続けていくように検討していきたいと思えます。

平成27年度活動内容

H27/4/22

- ・運転手確保のための情報交換
- ・中間処理委員会との合同活動の危険物混入パンフレットの経過状況を聞いた。
- ・委員長より全国産業廃棄物連合会のアンケート調査（規制強化を望むかなどの）情報提供、協力依頼

H27/6/24

- ・都道府県知事の業許可のあり方について、広域化について意見交換
- ・再委託ができないことについて意見交換
- ・欠格要件について意見交換（現在は道路交通違反も含むなど厳しい）

H27/9/3

- ・交通事故防止研修会を決めた。
- ・委員長より全国産業廃棄物連合会のタスクホースの情報提供

H27/11/18

- ・交通事故防止研修を青年部と合同で開催 講師：㈱ドルム

H28/2/25

- ・交通事故防止研修が好評だったため、事故事例、各委員の会社の取組み事例を集めることとした。専門家の意見等をふまえ、事例集を作成し、会員へ紹介することとした。
- ・11/18の交通事故防止研修のアンケート結果紹介

## (7) 建設廃棄物委員会

建設廃棄物に係る課題解決に向け以下の取組みを行った。

- ①今年度も「一都三県建設混合廃棄物意見交換会」を開催（3回）し、適正処理の推進に関わる今後の課題等について、研修会やアンケート調査・意見交換を実施した。

- ・6月9日 建設混合廃棄物に係るオーナー・経営者研修会 テーマ：「建設廃棄物を取り巻く窮状と適正処理について」
  - ・10月15日 一都三県建設混合廃棄物意見交換会 テーマ：「保険未加入問題について」、「持込みドライバー等の法的位置づけについて」（講演：阿部記念法律事務所）
  - ・2月23日 一都三県建設混合廃棄物意見交換会 テーマ：「建設混合廃棄物受入中間処理工場へのアンケート調査結果報告（12月実施）」、「建設混合廃棄物の適正処理に関する工場サイドからみた課題や対応のあり方等について（グループ討議による課題及び解決策の抽出）」
- ②5月と12月には、東京都関係局や関係団体で構成する「再生砕石等の利用拡大に向けたプロジェクトチーム」に参加するとともに、4月と11月には、本協会、（一社）東京建設業協会、（一社）東京建物解体協会の3団体合同の「再生砕石問題ワーキンググループ」に参画するなど、再生砕石の「東京ブランド」確立に向けた環境整備や調査研究等、積極的な活動を行った。
- ③5月、建設混合廃棄物の適正処理の推進について、（一社）日本建設業連合会、（一社）東京建設業協会、（一社）東京建物解体協会と意見交換を実施した。また、（一社）住宅生産団体連合会とも同様の意見交換を実施した。
- ④建設廃棄物委員会を5月と8月に開催した。10月には施設見学会及び勉強会を実施した。

今後も引き続き、建設廃棄物の適正処理及び有効利用を促進するため、積極的な活動を行っていく。

## (8) 多摩支部

### ①多摩支部会・研修会

6月の支部会では施設見学会の見学先及び日程等の確認をした。また、東京都と八王子市との意見交換会や適正処理のための情報交換などを行うことを目的とした「多摩支部法制度検討委員会」設置の報告を行った。

支部会後、教育研修委員会主催による「2015 これからの産廃処理事業の動向と先進的な取組み事例」と題して、日報ビジネス(株)取締役より御講演いただいた。次に多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市廃棄物対策課より「多摩地区における最近の指導状況と今後の指導方針」をテーマに研修会を行った。

### ②施設見学会

9月に実施したコミュニケーション委員会主催の施設見学会は、高度な処理技術を有する都築鋼産(株)館林工場を訪問した。見学会終了後、伊香保温泉に宿泊し、会員同士親睦を深めることができ、大変有意義な見学会となった。

### ③多摩支部適正処理意見交換会

多摩支部法制度検討委員会主催により、適正処理意見交換会が開催され、多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市廃棄物対策課より、多摩地域での指導事例のほか、食品不適正処理などの排出事業者責任、解体残置物の対応等について意見交換を行った。

## (9) 青年部

### 【助成事業】

- ① 4月18～19日、7回目となる「アースデイ東京2015」に参加し、会場内ごみゼロステーションの運営協力と来場者に対する環境教育を行いました。青年部員をはじめ関係企業社員など2日間で約90名の方々にご参加頂き、楽しみながら価値あるCSR活動を継続できました。

### 【環境活動】

- ② 8月29日、エコツアーリズム研修と同時に青年部員同士の親睦を深めるために「東京で遊ぼう・奥多摩BBQ」と題して始めた企画も今回で4回目となり、部員家族・社員も含め約50名の参加と大盛況でした。

また、11月6日、県外交流として神奈川県青年部と初めての取組みとしてビーチクリーンを中心とした共同事業を「江の島鵜沼海岸」にて企画しました。近隣の組織でありながら、部員同士なかなか交流する機会がなかった事から、懇親会では各自企業紹介をしながら総勢約60名で盛り上がりました。

- ③ 平成27年度は研修委員会を強化しました。

- 5月15日、青年部員及び青年部所属企業の若手社員を対象としたスキルアップのため、アウトプット型研修「インバケット」を企画。管理者・部下のスキルをさらに強化、自分でも気づかなかった潜在能力を引き出す研修と今回は40名の限定でしたが、大盛況で再度開催を求める声も多数ありました。
- 6月19日、総会時の研修会では、(株)NIコンサルティングより中小企業診断士を迎え、『営業の見える化』をコンセプトにご講義頂きました。
- 9月16日、「募集をしても、なかなか人が集まらない」また、「メディア等の媒体を使用しても、反応が鈍い」など、採用に関するお悩みをお持ちの会社も多い事から、「中小企業が採用を成功させるポイント」と題した研修を行なっています。
- 11月18日には収集運搬委員会と合同開催にて、交通事故防止コンサルタントを講師にお迎えし、『企業における交通事故防止のあり方とその必要性』をテーマにご講演頂きました。
- 2月10日に行われた賀詞交歓会では会場を国際フォーラムに移し『仕事力を上げる片付けの力』“モノゴト”の見極める力が仕事力を上げるという

観点から、インブルーム(株)取締役のお片付けコンシェルジュを迎え、研修及びパネルディスカッションを行い、約80名の関係者にお集まりいただきました。

#### (10) 女性部

女性部は平成27年度においても4つのチームがテーマを持って、全部員が参画する活動に取り組んできました。

- ①「環境教育チーム」…5月に参加した『2016NEW環境展』が縁で、武蔵野大学教授との出会いがあり、直接大学に伺い、大学生への業界説明など行うことができた。
- ②「研修会チーム」…リーガルアドバイザーの弁護士を招いて「契約書作成と印紙税」の勉強会を2回開催した。その他にも「電子委託契約」、また産業廃棄物から少し離れ、「シナゴロジー」(非言語コミュニケーション)について学んだ。10月には(株)クマクラ・石坂産業(株)の施設見学を行った。
- ③「社会貢献チーム」…部員各社より回収したペットボトルキャップの売却益等で購入した大型絵本2冊を、社会貢献チームのメンバー3名が岩手県釜石市教育委員会を訪問し寄贈した。
- ④「情報発信チーム」…2月19日品川の船宿(屋形船)で関東地域協議会女性部会交流会を開催する等、千葉、埼玉、群馬県協会女性部会との連携を取りながら、女性ネットワークの拡大につながる活動を行った。